

心臓血管外科

概要

人口の高齢化、生活習慣病の増加によって心臓血管疾患が増加し、外科治療の対象患者が増加している。心臓血管疾患は生命に直結し、その診断と治療は救急医療の現場で極めて重要である。選択研修においては、一般外科診療の基本的能力に加えて、心臓・大血管・末梢血管・静脈の疾患について診断、手術適応、手術治療、周術期管理、外来診療に至る一連の医療技術を習得する。心血管エコー検査、画像診断法を習得し、ウェットラボや on the job で血管縫合のトレーニングを行う。受け持ち患者の心臓血管手術治療に参加し実践する。

研修の目標

【 一般目標 】

一般的な外科診療法・処置操作を会得し、さらに心臓血管外科に必要な診断法及び心臓・血管操作のテクニックを身につける。

【 行動目標 】

1. 心臓血管系の発生、構造と機能を理解し、疾患の病因、病理病態、疫学に関する知識を持つ。
2. 心臓血管疾患の診断に必要な問診および身体診察を行い、必要な検査法の選択ならびにその結果を総合して診断と病態の評価ができる。
3. 診断に基づき、手術療法の適応と選択ができる。
4. 心臓血管外科に関する学会、研究会で発表ができる。

【 経験目標 】

心臓血管外科基本手技

- 1) 基本的な外科手技ができる。
- 2) 心エコーのほか諸検査による心臓及び血管系の基本的画像診断ができる。
- 3) 人工心肺の仕組みが理解できる。
- 4) 人工血管や大動物の心・大血管を用いた血管吻合ができる。
- 5) 開胸・閉胸の助手ができる。
- 6) 血管の露出・テーピング・末梢血管吻合ができる。
1～2か月の研修では1) 2) が可能。3～4ヶ月の研修では1)～4) が可能。5～6ヶ月の研修では1) 2) 3) 4) に加えて5) が研修可能である。6ヶ月以上の研修では6) まで可能となる。

スケジュール

ICU 回診、報告・病棟カンファレンス (毎日 午前 8 時 00 分～)

手術 (月・火・水・金曜日 午前 8 時 30 分～)

医局会 (火曜日午後 5 時～)

Heart Team conference (循環器内科・心臓血管外科合同カンファレンス) (木曜日 午前 7 時 30 分～)

ウェット・ラボ (2ヶ月に1回程度：手術手技の確認、トレーニング、心臓解剖の確認など)

研修の指導・評価

研修医の毎日の指導・評価は指導医となる主治医が責任をもって行う。手術室では術者と上級助手、回診では科長を中心として全スタッフが協力して指導・評価を行う。これに加えて、スタッフ指導のもと一般外科基本手技および心臓血管外科基本手技の修練を恒常的に行う。

研修実施責任者

心臓血管外科長：福井 寿啓

研修指導者

以下に表を示す。

職名	氏名	卒業年	資格等
教授	福井 寿啓	H 6	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本胸部外科学会認定医 心臓血管外科専門医・修練指導医
講師	岡本 健	H 4	日本外科学会認定医・専門医 心臓血管外科専門医・指導医 脈管専門医 胸部・腹部ステントグラフト指導医 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施医
助教	吉永 隆	H 15	日本外科学会認定医・専門医
助教	西川 幸作	H 16	日本外科学会認定医・専門医 心臓血管外科専門医・修練指導医 循環器専門医
特任助教	高木 淳	H 19	日本外科学会認定医・専門医 心臓血管外科専門医 心臓リハビリテーション指導士 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施医
非常勤講師	森山 周二	H 2	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本胸部外科学会認定医 心臓血管外科専門医